

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 2 月 22 日作成 第 1.0 版

研究課題名	大動脈解離術後患者における自宅病院間距離と外来心臓リハビリテーション通院の関連性： Retrospective cohort study
研究の対象	2017 年 3 月～2023 年 3 月の Diagnosis Procedure Combination (DPC) データより、急性大動脈解離と診断された患者さんのうち、大動脈切除術（吻合または移植を含む）あるいはオープン型ステントグラフト内挿術を受けた患者さんを対象に、自宅から病院までの距離が遠い上位 75%の患者さんを曝露群、距離が近い下位 25%の患者さんを対照群として、外来心臓リハビリテーション（外来心リハ）への移行率を調査します。
研究の目的	大動脈解離術後における外来心臓リハビリテーションの移行率は約 3%と非常に低いことが知られています。大動脈解離術後患者様においては、術後に低下した身体機能の向上や健康関連 QOL の向上に有効であることが知られています。本研究では、外来心リハ通院の障壁の 1 つである自宅病院間の距離に着目し、さらに COVID-19 パンデミック前後で距離の影響が大きくなっているかどうかを明らかにすることを目的としています。
研究の方法	DPC データから、自宅から病院までの距離、外来心リハを受けるかどうか、そしてそれぞれに関連する要因についての情報を収集し、距離とパンデミック前後の時期の 2 つの要素と外来心リハ移行率との関連性を分析します。 どのデータも、入院中に得られた情報用いて、個人が特定できないよう処理をしておりますので、研究対象の方のご負担や不利益につながることはありません。
研究期間	西暦 2024 年 3 月 18 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2025 年 3 月 31 日 情報の利用・提供を開始する予定日：西暦 2024 年 3 月 18 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報： 年齢、性別、身長、体重、喫煙指数、緊急入院の有無、退院時の Barthel Index、入院日、退院日、入院時の意識状態 (Japan Coma scale)、SOFA score、チャールソン併存疾患指数、認知症の既往、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の記載、の有無、入院区分の心大血管疾患リハビリテーション料の最初算定日、外来区分の心大血管疾患リハビリテーション料の最初算定日、患者所在地（田舎、都市近郊）、医療機関所在地（田舎、都市近郊）、患者所在地から医療機関所在地までの距離、在院日数、退院後 30 日以内の死亡と理由、退院後 30 日以内の再入院と理由、転帰先 ・治療内容： 入院契機病名、Stanford 分類、術式、人工心肺使用の有無（PCPS、IABP、気管挿管）、合併症（脳梗塞、脳出血、下肢虚血、心タンポナーデ、創部離開、創部出血、術後イレウス、急性腎不全）、院内死亡 ・病院の機能： 病床数、機能評価係数（構造的因子の評価）、機能評価係数（診療内容の評価）

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の授受	<p>本研究では、国立大学法人東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学教室から上記の情報の提供を受けて実施します。情報には研究対象施設識別コードを用い、カルテ ID は記載しません。また、研究責任者又は研究分担者は、既存試料・情報の提供のみを行う機関の担当医師より特定の個人を識別できないように加工された状態（特定の個人を識別するための対応表作成もなし）で郵送にて USB 内に格納されたデータ供与を受けますので、本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報は含みません。</p> <p>情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、復元できない方法で廃棄します。</p>
個人情報の管理	<p>本研究で提供される情報は、特定の個人を識別することができないように加工されており、また個人を照合することができるよう管理する表（対応表）を作成することはありません。そのため、提供されるデータベースからは個人を特定することができません。</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	<p>本学の個人情報の管理責任者は理事長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 黒木 淳</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究には、開示すべき利益相反はありません。また、利益相反関係がある研究者が、データ管理や統計・解析に関わる業務には従事しません。</p>
研究組織（利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 黒木 淳</p> <p>【既存試料・情報の提供のみを行う機関と責任者】 国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院 医療政策情報学 伏見 清秀</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。弊学で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒220-8173 横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2-1</p> <p>横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 （研究責任者）黒木 淳 横浜市立大学 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻（問い合わせ担当者）金子 真人 電話番号：045 - 681-7560（教育推進課 みなとみらいサテライトキャンパス担当）</p>	